

大分工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	中国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	R05M511		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書)陳淑梅・劉光赤著「わくわくスタディ実学実用初級中国語ライト版」朝日出版社。 (辞書)『中日辞典』、『日中辞典』, 小学館出版.				
担当教員	林 静				
到達目標					
(1) 中国語の補語などの基本文法が正確に把握できるようになる。(定期試験と課題) (2) 基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話ができるようになる。(定期試験と課題) (3) 中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が高くなる。(定期試験)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	中国語の補語などの基本文法が正確に把握できるようになる.		中国語の補語などの基本文法が概ね把握できるようになる.		中国語の補語などの基本文法が把握できない.
評価項目2	基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話ができるようになる.		基本的な文法を理解し, おおよそ簡単な日常会話ができるようになる.		基本的な文法を理解し, 簡単な日常会話ができない.
評価項目3	中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が格段に高くなる.		中国語のイントネーションを身につけ, 中国語でのコミュニケーション能力が概ね高くなる.		中国語のイントネーションが身につかず, 中国語でのコミュニケーション能力が高くない.
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C2) JABEE 1.2(f)					
教育方法等					
概要	<p>(授業の概要)</p> <p>中国語は, 中華人民共和国, 台湾, シンガポールの公用語であるほか, 世界各国にいる華僑や華人たちの間でも話されている。中国語を母語とする人は約12億人, また第二言語とする人も約2億人いるといわれており, 世界最大の母語話者人口を有する。中国語は国際連合における公用語の一つでもある。中国大陸では, 中国語のことを主に「中文」や「」と呼ぶ。「中文」は学術的な用語としてもよく使われる。他に地方では, 「國語」, 「華語」, 「中國話」などとも言う呼び方もある。</p> <p>中国では, 北方語の発音や語彙と近代口語小説の文法を基に作られた「普通話」(pǔtōnghuà)が教育現場や放送現場で取り入れられ, 標準語・共通語として使われている。一般的に, 全人口の7割程度が普通話を理解するといわれ, 方言話者の若い世代は普通話とのバイリンガルとなっていることが多い。</p> <p>中国語Ⅱでは, 実用性の高い会話を練習して, 中国語の基礎文法の習得を目指す。更に, 中国に対する関心や興味を持たせ, これからの多文化共生の社会の中で未来の技術者が中国語をスキルの一つとして活かせる授業を考えている。</p> <p>(教育プログラム) 第2学年 ◇科目</p>				
授業の進め方・方法	<p>(授業の進め方)</p> <p>中国語Ⅱでは, 実用性の高い会話を練習して, 中国語の基礎文法の習得を目指します。更に, 中国に対する関心や興味を持たせ, これからの多文化共生の社会の中で未来の技術者がスキルの一つとして活かせる授業を考えています。事前学習として必ずテキストを予習しておくこと。</p>				
注意点	<p>(履修上の注意)</p> <p>授業後の復習は, 必ず行うこと。 期末試験において, 期末試験以外, 課題完成状況, 及び受講態度など平常点も含まれること。 (自学上の注意) CDを活用することを勧めます。</p>				
評価					
(総合評価) 総合評価 = 課題完成状況30% + 受講態度など平常点10% + 中間試験30% + 期末テスト30% (再試験) 原則再試験はありません。					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス	前期内容に関する総合復習。	
		2週	第1 1 課	動詞「在」などが使えるようになる。	
		3週	第1 2 課	年月日・曜日などが表現できるようになる。	
		4週	第1 3 課	時刻の言い方などが表現できるようになる。	
		5週	第1 4 課	比較の言い方などが表現できるようになる。	
		6週	第1 5 課	方向補語などが表現できるようになる。	
		7週	第1 6 課	結果補語などが表現できるようになる。	
	8週	第1 7 課期と中間試験に向けて		試験に向けてのアドバイス等	
	4thQ	9週	後期中間試験	目的・到達目標の(1)~(3)	
	10週	第1 7 課	様態補語などが表現できるようになる。		
11週	第1 8 課	可能補語などが表現できるようになる。			

	12週	第19課	使役表現などが使えるようになる。
	13週	第20課	受身表現などが使えるようになる。
	14週	応用練習	口頭練習とリスニング練習。
	15週	後期末試験	目的・到達目標の(1)～(3)
	16週	後期末試験の解答と解説	この1年の振り返りについて

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	課題	受講態度	中間・期末テスト	合計
総合評価割合	30	10	60	100
基礎的能力	30	10	60	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0